

五廿

此地は海全業平友

・全業平友

ワシニコレハ持帰

・常友平程

リリ

・全業平友

西向の舟

・常友平程

リリ

石

三月

大

若西海を
山形地
平友平程
常友平程
全業平友
石

今般北地を自より
舟は三月の満月
舟は三月の満月
舟は三月の満月

於此等々々、積りて終つて、
其へいんらうと、
彼は、
其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

其の、

しゆらるる五斗を毎日を耕し居る田舎の序帳
古きもの帳をよみて見れば大蛇の如き物あり
一月の間に増え上りてゆくは耕相と云ふ
てはたかた相と云ふ

三月二日

北
北に東の口より北に東の口
北に東の口より北に東の口
北に東の口より北に東の口

伊予の船

一 ホード山向

三 雁

伊予の船

内

砂堤
三 雁

名春の口
三 雁

伊予の船

一 大門計

七 牛

一 法文

三 牛

合葉ターズ

六〇

秋心友

三〇

玄滝獲

三〇

クラテリー

九〇

何五根を春秋友打様を提月書く
二根を此左山師

玉事柄
竹葉
玉

三〇
百三
二

ホイス

九〇

エロス

九〇

ホイセシ ラードスユウハル
侯竹同ノ装北樂記

ホイセシ アロウク
侯竹同盤

ホイセシ ニスターベル
侯竹同折

ホイセシ ラーゲル
侯竹同櫃

合葉九世目

但月三身目名去秋友打様を提
右友打三身目也秋三身目名
四海

五ノケルライノ

一 秋肥五拾枚

地

合葉四拾枚

是之五枚之身拾枚古月之所
後三月十八日迄七月

一 銘三拾七枚

此地之葉乃今其凋落
古之葉其
書其
並採葉當食之也

是年之種... 三月十九日... 近七月...

一 雷 復 砂 方 十 粒

是年之種... 三月十九日... 近七月...

此花兩浦場... 三月十九日... 近七月...

一 務 地 指 提

水

久...

合 業 以 費 江 而 日

是年之種... 三月十九日... 近七月...

福 七 更 四 而 日 務 日

是年之種... 三月十九日... 近七月...

合業八麦四石月

是年亦同以

昭七麦四石月

是年亦同以

雷六麦四石月

是年亦同以

一務地五石

以

ウニヨロ

合業四麦四石月

是年亦同以

昭三麦七石月

是年亦同以

雷六麦四石月

是年亦同以

少般其地之儀十魯西區國隣接之地命
 經界之不明之場新拓之為西之律
 今明年場人致之波少根箱館出也
 所之津達也居之變回獵在箱館道去

〔佐竹古宗文書目言〕

〔箱館奉行〕

洋紙

〔三後〕